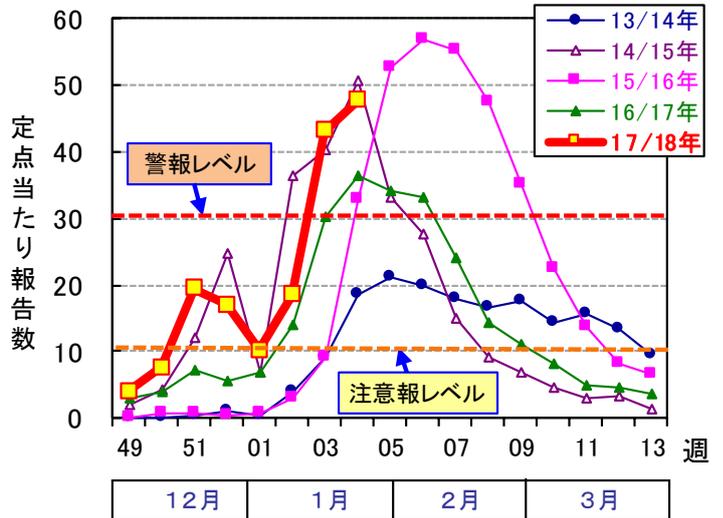


■コメント

1. インフルエンザ

定点当たり47.7人と、前週からさらに増加し、警報レベル(定点当たり30.0人)が継続しており、学級閉鎖等の報告も多くなっています。(次頁参照)
 なお、第4週の市内の基幹病院2か所による迅速診断結果では、A型陽性が172人、B型陽性が342人と、B型の割合が66.5%となっています。また、広島市衛生研究所による遺伝子検査の結果では、今シーズンは、A(H1N1)2009型が5件、A(H3)型が3件、B型(山形系統)が5件検出されています(1月28日現在速報値)。
 手洗いの励行や人ごみを避けるなど予防対策に努めましょう。また、インフルエンザの感染が疑われる場合は、咳エチケットを心がけ、早めに医療機関を受診しましょう。

インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	1764	47.68	37.76	↗	小児科	流行性耳下腺炎	2	0.08	0.37	
小児科	咽頭結膜熱	8	0.33	0.31		小児科	RSウイルス感染症	7	0.29	0.34	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	50	2.08	2.33	↗	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
	感染性胃腸炎	168	7.00	9.34	↗	眼科	流行性角結膜炎	5	0.63	0.53	
	水痘	10	0.42	0.92		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	2	0.08	0.20			無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	伝染性紅斑	1	0.04	0.42			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.20	
	突発性発しん	8	0.33	0.38			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	2	0.08	0.03		基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	7	1.00		

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	9	男性(80歳代)・2人
5	ウイルス性肝炎	1	1	女性(40歳代)
5	梅毒	1	6	女性(30歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	第52週 第1週 第2週 第3週 第4週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎	
			632	10	44	245	14	9	1	7	1	4	11	1	5	-	-	-	-	-	-	-
定点当たり	広島市	第52週	17.08	0.42	1.83	10.21	0.58	0.38	0.04	0.29	0.04	0.17	0.46	0.13	0.63	-	-	-	-	-	-	-
		第1週	10.22	0.39	1.17	3.70	0.26	0.09	0.04	0.13	0.04	0.04	0.35	-	0.25	-	-	0.14	-	-	0.14	
		第2週	18.43	0.25	1.83	5.79	0.75	-	0.08	0.25	-	0.04	0.38	0.25	0.63	-	-	-	-	-	-	
		第3週	43.24	0.29	2.38	7.17	0.33	0.17	0.13	0.25	-	0.17	0.50	-	0.75	-	-	0.14	-	-	-	
		第4週	47.68	0.33	2.08	7.00	0.42	0.08	0.04	0.33	0.08	0.08	0.29	-	0.63	-	-	-	-	-	1.00	
	全国	第2週	26.44	0.33	1.88	5.29	0.38	0.16	0.08	0.36	0.02	0.22	0.45	0.01	0.82	0.02	0.03	0.24	0.01	0.05		
		第3週	51.93	0.30	2.65	6.18	0.28	0.23	0.10	0.35	0.03	0.16	0.47	0.01	0.73	0.01	0.03	0.25	0.01	0.05		

*百日咳は、2018年1月1日から5類感染症(全数把握疾患)に変更になりました。

■新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

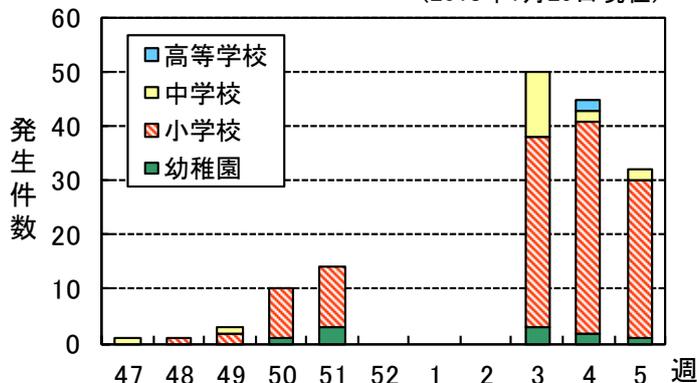
診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(41.0) 意識障害	8	女	2017/12/17	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(40.0) 気管支炎 嘔吐 嘔き気	12	女	2017/12/18	鼻汁	B型インフルエンザウイルス
インフルエンザ	発熱(38.0) 咽頭炎	8	男	2017/12/19	鼻汁	B型インフルエンザウイルス
感染性胃腸炎	嘔吐 嘔き気 下痢 意識障害 痙攣	1	男	2017/12/06	糞便	ノロウイルスG2
感染性胃腸炎	嘔吐 嘔き気 下痢 腹痛	1	男	2017/12/07	糞便	ノロウイルスG2
感染性胃腸炎	発熱(37.8) 嘔吐 下痢 意識障害	1	女	2017/12/13	糞便	ノロウイルスG2
感染性胃腸炎	発熱(40.0) 発疹 嘔吐 下痢	0	男	2017/12/15	糞便	ノロウイルスG2
感染性胃腸炎	発熱 嘔吐 下痢	2	男	2017/12/19	糞便	ノロウイルスG2
無菌性髄膜炎	発熱(38.6) 髄膜炎 項部硬直 頭痛	9	男	2017/12/15	髄液	エコーウイルス7型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.0) 咽頭炎	1	男	2017/12/06	咽頭拭い液	ライノウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の発生状況

インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等発生件数

(2018年1月29日現在)



広島市におけるインフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は、第3週に50件、第4週に45件、その後も1月29日までに32件と、第3週以降、小学校を中心に多く報告されています。

なお、今シーズン(注)のインフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の累計は156件(幼稚園:10件、小学校:126件、中学校:18件、高等学校:2件)です。

(注)期間は、2017年第36週～2018年第35週です。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2018年第4週(1月22日～1月28日)